

平均在院日数（一般病床）

定義

令和5年度1年間の、一般病床における病床稼働率です。

算式

「在院患者延数」÷（（「新入院患者数」+「退院患者数」）÷2）

当院の値（調査期間）

R5年度	12.30 日（年間）
R4年度	12.40 日（年間）
R3年度	12.40 日（年間）
R2年度	13.50 日（年間）

項目の解説

患者が一般病床に平均何日間入院しているかを表す指標です。患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、質の確保と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。また、病床稼働率（一般病床）と合わせて比較することにより、例えば病床稼働率が上昇し、在院日数が短縮している場合は、地域の医療機関などと連携しながら、急性期医療を効率的に行っていると考えられます